| FP | ３級 | 個人 |
|---|---|---|

2022年 ９月試験
ファイナンシャル・プランニング技能検定

# ３級　個　人

## 資産相談業務

| | | | |
|---|---|---|---|
| 実施日① ◆ | 年 | 月 | 日 |
| 実施日② ◆ | 年 | 月 | 日 |
| 実施日③ ◆ | 年 | 月 | 日 |
| 試験時間 ◆ 60分 | | | |

★　注　意　★

1．受検する科目の問題用紙と解答用紙が正しく配付されているかどうかを確認し、誤った用紙が配付されている場合は挙手してください。「問題用紙左上部の科目の略称」と「解答用紙左上部の科目の略称」の一致を確認してください。
2．本試験の出題形式は、三答択一式５題（15問）です。
3．筆記用具、計算機（プログラム電卓等を除く）の持込みが認められています。
4．試験問題については、特に指示のない限り、法令基準日（１月・５月試験は前年10月1日、９月試験はその年の４月１日）現在において施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
5．試験時間中は、乱丁・落丁、印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
6．不正行為があったときは、すべての解答が無効になります。
7．解答用紙の注意事項を必ずお読みください。
8．その他、試験監督者の指示に従ってください。
9．途中退出はできません。

FP3級ドットコム

**【第１問】 次の設例に基づいて、下記の各問（《問1》～《問3》）に答えなさい。**

《設　例》

会社員のAさん（39歳）は、妻Bさん（38歳）、長男Cさん（10歳）および二男Dさん（６歳）との４人暮らしである。Aさんは、自分に万一のことがあった場合に、妻Bさんが受給することができる公的年金制度の遺族給付について知りたいと思っている。また、まもなく保険料の徴収が始まる公的介護保険の保険給付についても確認しておきたいと思っている。

そこで、Aさんは、ファイナンシャル・プランナーのMさんに相談することにした。

＜Aさんの家族構成＞

・Aさん　　：1982年11月14日生まれ
　　会社員（厚生年金保険・全国健康保険協会管掌健康保険に加入）
・妻Bさん　：1984年６月20日生まれ
・長男Cさん：2012年６月1日生まれ
・二男Dさん：2016年１月4日生まれ

＜公的年金加入歴（2022年８月分まで）＞

| | 20歳 | 22歳 | 39歳 |
|---|---|---|---|
| Aさん | 国民年金<br>保険料納付済期間<br>（29月） | 厚生年金保険<br>被保険者期間<br>（209月） | |

| | 20歳 | 22歳 | Aさんと結婚 | 38歳 |
|---|---|---|---|---|
| 妻Bさん | 国民年金<br>保険料納付済期間<br>（34月） | 厚生年金保険<br>被保険者期間<br>（48月） | 国民年金<br>第３号被保険者期間<br>（137月） | |

※ 妻Bさん、長男Cさんおよび二男Dさんは、現在および将来においても、Aさんと同居し、Aさんと生計維持関係にあるものとする。

※ 家族全員、現在および将来においても、公的年金制度における障害等級に該当する障害の状態にないものとする。

※ 上記以外の条件は考慮せず、各問に従うこと。

**《問１》 現時点（2022年９月11日）においてAさんが死亡した場合、妻Bさんに支給される遺族基礎年金の年金額（2022年度価額）は、次のうちどれか。**

1）777,800円＋74,600円＋74,600円＝927,000円

2）777,800円＋223,800円＋74,600円＝1,076,200円

3）777,800円＋223,800円＋223,800円＝1,225,400円

**《問２》 Mさんは、現時点（2022年９月11日）においてAさんが死亡した場合に、妻Bさんに支給される遺族厚生年金の金額等について説明した。Mさんが、Aさんに対して説明した以下の文章の空欄①～③に入る語句または数値の組合せとして、次のうち最も適切なものはどれか。**

「遺族厚生年金の額は、原則として、Aさんの厚生年金保険の被保険者記録を基礎として計算した老齢厚生年金の報酬比例部分の額の（　①　）相当額となります。ただし、Aさんの場合、その計算の基礎となる被保険者期間の月数が（　②　）月に満たないため、（　②　）月とみなして年金額が計算されます。

また、二男Dさんの18歳到達年度の末日が終了し、妻Bさんの有する遺族基礎年金の受給権が消滅したときは、妻Bさんが65歳に達するまでの間、妻Bさんに支給される遺族厚生年金に（　③　）が加算されます」

1）① ３分の２　　② 240　　③ 中高齢寡婦加算
2）① ４分の３　　② 300　　③ 中高齢寡婦加算
3）① ４分の３　　② 240　　③ 経過的寡婦加算

**《問３》 Mさんは、公的介護保険（以下、「介護保険」という）について説明した。Mさんが、Aさんに対して説明した以下の文章の空欄①～③に入る語句の組合せとして、次のうち最も適切なものはどれか。**

「介護保険の被保険者が保険給付を受けるためには、市町村（特別区を含む）から要介護・要支援認定を受ける必要があります。介護保険の被保険者は、（　①　）以上の第１号被保険者と40歳以上（　①　）未満の医療保険加入者である第２号被保険者に区分されます。

介護保険の第２号被保険者は、（　②　）要介護状態または要支援状態となった場合に保険給付を受けることができます。介護保険の第２号被保険者が介護給付を受けた場合、原則として、実際にかかった費用（食費、居住費等を除く）の（　③　）を自己負担する必要があります」

1）① 60歳　　② 特定疾病が原因で　　③ ２割
2）① 65歳　　② 原因を問わず　　③ ２割
3）① 65歳　　② 特定疾病が原因で　　③ １割

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

**【第２問】 次の設例に基づいて、下記の各問（《問4》～《問6》）に答えなさい。**

《設　例》

会社員のAさん（45歳）は、妻Bさん（44歳）および長男Cさん（17歳）との３人暮らしである。長男Cさんが通う高校では資産形成についての授業が行われており、株式や投資信託の基本的な仕組みを学んだ長男Cさんは、将来、株式や投資信託に投資をしてみたいと考えるようになった。Aさんは、投資に関心を持ち始めた長男Cさんと一緒に、銘柄を選ぶ際の判断基準や取引のルール等について理解したいと考えている。

そこで、Aさんは、長男Cさんを連れて、懇意にしているファイナンシャル・プランナーのMさんを訪ねることにした。Mさんは、来訪したAさんと長男Cさんに対して、X社株式（東京証券取引所上場銘柄）とY投資信託を例として、株式や投資信託に投資する際の留意点等について説明を行った。

＜X社に関する資料＞

| | |
|---|---|
| 総資産 | 2,500億円 |
| 自己資本（純資産） | 1,500億円 |
| 当期純利益 | 120億円 |
| 年間配当金総額 | 36億円 |
| 発行済株式数 | １億株 |
| 株価 | 1,800円 |

※ 決算期：2023年11月30日（水）（配当の権利が確定する決算期末）

＜Y投資信託（公募株式投資信託）に関する資料＞

・銘柄名　：日経225インデックス
・投資対象地域／資産　：国内／株式
・信託期間　：無期限
・基準価額　：13,000円（１万口当たり）
・決算日　：年１回（10月20日）
・購入時手数料　：なし
・運用管理費用（信託報酬）：0.187％（税込）
・信託財産留保額　：なし

※ 上記以外の条件は考慮せず、各問に従うこと。

**《問４》 はじめに、Mさんは、＜X社に関する資料＞から算出されるX社株式の投資指標について説明した。MさんのAさんおよび長男Cさんに対する説明として、次のうち最も適切なものはどれか。**

1）「X社株式のPERは15倍です。一般に、PERが高いほど株価は割高、低いほど株価は割安と判断されます」
2）「X社のROEは８％です。一般に、ROEが低い会社ほど、資産の効率的な活用がなされていると考えることができます」
3）「X社の配当性向は２％です。一般に、配当性向が高いほど、株主への利益還元の度合いが高いと考えることができます」

**《問５》 次に、Mさんは、X社株式を売買する場合の留意点等について説明した。MさんのAさんおよび長男Cさんに対する説明として、次のうち最も不適切なものはどれか。**

1）「証券取引所における株式の売買注文の方法のうち、成行注文は、希望する売買価格を明示せず、希望する銘柄、売り買いの別および数量を指定して注文する方法です。成行注文は、指値注文に優先して売買が成立します」
2）「権利付き最終日である2023年11月30日（水）までに、X社株式を買付約定（購入）すれば、X社株式の次回の期末配当を受け取ることができます」
3）「仮に、特定口座（源泉徴収あり）でX社株式を株価1,800円で100株購入し、同年中に株価2,000円で全株売却した場合、その他の取引や手数料等を考慮しなければ、譲渡益２万円に対して20.315％相当額が源泉徴収等されます」

**《問６》 最後に、Mさんは、Y投資信託を購入する場合の留意点等について説明した。MさんのAさんおよび長男Cさんに対する説明として、次のうち最も不適切なものはどれか。**

1）「Y投資信託のように購入時手数料を徴収しない投資信託は、一般に、ノーロードファンドと呼ばれます。投資信託に投資する際には、購入時だけでなく、保有中や換金時にかかる費用等も勘案して銘柄を選択することが大切です」
2）「運用管理費用（信託報酬）は、投資信託を保有する投資家が負担する費用です。一般に、Y投資信託のようなインデックス型投資信託は、アクティブ型投資信託よりも運用管理費用（信託報酬）が低い傾向があります」
3）「仮に、Y投資信託を基準価額13,000円（１万口当たり）で１万口購入した後、最初の決算時に１万口当たり200円の収益分配金が支払われ、分配落ち後の基準価額が13,200円（１万口当たり）となる場合、その収益分配金は、全額が元本払戻金（特別分配金）として非課税となります」

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

**【第３問】 次の設例に基づいて、下記の各問（《問7》～《問9》）に答えなさい。**

《設　例》

会社員のAさんは、妻Bさん、長男Cさんおよび長女Dさんとの４人家族である。2023年５月に20歳になった長男Cさんの国民年金保険料は、Aさんが毎月支払っている。

＜Aさんとその家族に関する資料＞

・Aさん（50歳）　　：会社員
・妻Bさん（47歳）　：2023年中に、パートタイマーとして給与収入80万円を得ている。
・長男Cさん（20歳）：大学生。2023年中の収入はない。
・長女Dさん（14歳）：中学生。2023年中の収入はない。

＜Aさんの2023年分の収入等に関する資料＞

(1) 給与収入の金額：800万円
(2) 不動産所得の金額：30万円
(3) 一時払養老保険（10年満期）の満期保険金

| | |
|---|---|
| 契約年月 | ：2013年３月 |
| 契約者(=保険料負担者)・被保険者 | ：Aさん |
| 死亡保険金受取人 | ：妻Bさん |
| 満期保険金受取人 | ：Aさん |
| 満期保険金額 | ：320万円 |
| 一時払保険料 | ：300万円 |

※ 妻Bさん、長男Cさんおよび長女Dさんは、Aさんと同居し、生計を一にしている。
※ Aさんとその家族は、いずれも障害者および特別障害者には該当しない。
※ Aさんとその家族の年齢は、いずれも2023年12月31日現在のものである。
※ 上記以外の条件は考慮せず、各問に従うこと。

**《問７》 Aさんの2023年分の所得税における総所得金額は、次のうちどれか。**

＜資料＞給与所得控除額

| 給与収入金額 | | | 給与所得控除額 |
|---|---|---|---|
| 万円超 | | 万円以下 | |
| | ～ | 180 | 収入金額×40%－10万円（55万円に満たない場合は、55万円） |
| 180 | ～ | 360 | 収入金額×30%＋８万円 |
| 360 | ～ | 660 | 収入金額×20%＋44万円 |
| 660 | ～ | 850 | 収入金額×10%＋110万円 |
| 850 | ～ | | 195万円 |

1）640万円
2）650万円
3）660万円

**《問８》 Aさんの2023年分の所得税における所得控除に関する以下の文章の空欄①～③に入る数値の組合せとして、次のうち最も適切なものはどれか。**

i. 「妻Bさんの合計所得金額は48万円以下となりますので、Aさんは配偶者控除の適用を受けることができます。Aさんが適用を受けることができる配偶者控除の額は、（　①　）万円です」
ii. 「Aさんが適用を受けることができる扶養控除の額は、（　②　）万円です」
iii. 「Aさんが適用を受けることができる基礎控除の額は、（　③　）万円です」

1）① 38　② 63　③ 48
2）① 38　② 101　③ 38
3）① 48　② 101　③ 48

**《問９》 Aさんの2023年分の所得税の課税に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。**

1）「Aさんが2023年中に支払った長男Cさんの国民年金保険料は、その全額を社会保険料控除として総所得金額等から控除することができます」
2）「Aさんは、不動産所得の金額が20万円を超えるため、確定申告をしなければなりません」
3）「確定申告書は、原則として、2024年２月16日から３月31日までの間に、Aさんの住所地を所轄する税務署長に提出してください」

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

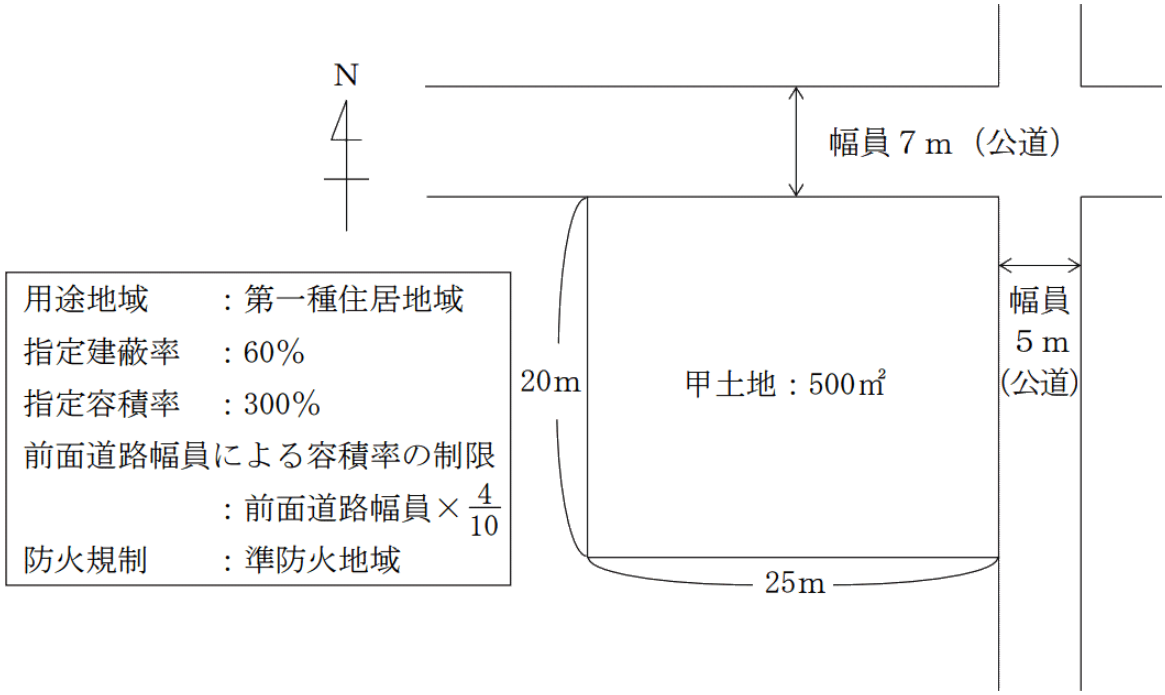
**【第４問】 次の設例に基づいて、下記の各問（《問10》～《問12》）に答えなさい。**

《設　例》

Aさん（52歳）は、数年前に父親が死亡し、実家（甲土地および建物）を相続により取得した。父親が１人で暮らしていた実家の建物（築50年）は、父親が亡くなってから空き家となっている。

Aさんは、実家のある都市とは別の都市に所有するマンションに家族と居住しており、実家に戻る予定はないため、実家の建物を取り壊し、甲土地を売却することを検討している。しかし、先日、不動産会社を通じて、大手ドラッグストアのX社から、「新規出店のため、甲土地について事業用定期借地権の設定契約を締結してもらえないか」との提案を受けたことから、甲土地の有効活用にも興味を抱くようになった。

＜甲土地の概要＞




- 甲土地は、建蔽率の緩和について特定行政庁が指定する角地である。
- 指定建蔽率および指定容積率とは、それぞれ都市計画において定められた数値である。
- 特定行政庁が都道府県都市計画審議会の議を経て指定する区域ではない。

※ 上記以外の条件は考慮せず、各問に従うこと。

**《問10》 甲土地に耐火建築物を建築する場合の①建蔽率の上限となる建築面積と②容積率の上限となる延べ面積の組合せとして、次のうち最も適切なものはどれか。**

1）① 350㎡　② 1,400㎡
2）① 400㎡　② 1,400㎡
3）① 400㎡　② 1,500㎡

**《問11》 「被相続人の居住用財産（空き家）に係る譲渡所得の特別控除の特例」（以下、「本特例」という）に関する以下の文章の空欄①～③に入る語句または数値の組合せとして、次のうち最も適切なものはどれか。**

| |
|---|
| i.「被相続人の居住用家屋およびその敷地を取得した相続人が、その家屋や敷地を譲渡し、本特例の適用を受けた場合、最高（　①　）万円の特別控除の適用を受けることができます。本特例の対象となる家屋は、1981年５月31日以前に建築されたもので、マンションなどの区分所有建物登記がされている建物は対象になりません」<br>ii.「本特例の適用を受けるためには、譲渡価額が（　②　）円以下であること、2023年12月31日までに行われる譲渡で相続開始日から同日以後（　③　）を経過する日の属する年の12月31日までに譲渡することなど、所定の要件を満たす必要があります」 |

1）① 3,000　② １億　③ ３年
2）① 3,000　② 6,000万　③ ５年
3）① 5,000　② １億　③ ５年

**《問12》 事業用定期借地権方式に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。**

1）「事業用定期借地権方式は、X社が甲土地を契約で一定期間賃借し、X社が甲土地上に店舗を建築する方式です。Aさんは、土地を手放さずに安定した地代収入を得ることができ、契約期間満了時には土地が更地で返還されます」
2）「Aさんが、甲土地についてX社と事業用定期借地権の設定契約を締結する場合、その契約は、公正証書によってしなければなりません」
3）「Aさんと事業用定期借地権の設定契約を締結したX社が、甲土地上に店舗を建築し、その賃貸期間中にAさんの相続が開始した場合、相続税額の計算上、甲土地は貸家建付地として評価されます」

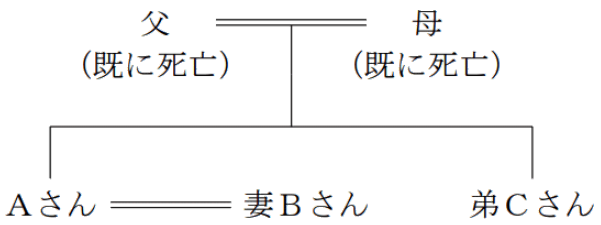
〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

**【第５問】 次の設例に基づいて、下記の各問（《問13》～《問15》）に答えなさい。**

《設　例》

Aさん（79歳）は、妻Bさん（73歳）との２人暮らしである。Aさん夫妻には、子がいない。Aさんは、妻Bさんに全財産を相続させたいと考えており、遺言の準備を検討している。

＜Aさんの親族関係図＞




＜Aさんの主な所有財産（相続税評価額）＞

1. 現預金：１億円
2. 上場株式：6,000万円
3. 自宅敷地（240㎡）：5,000万円（注）
   自宅建物：1,000万円

（注）「小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例」適用前の金額

※ 上記以外の条件は考慮せず、各問に従うこと。

**《問13》 遺言に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。**

1）「自筆証書遺言は、遺言者が、その遺言の全文、日付および氏名を自書し、これに押印して作成するものです。自筆証書に添付する財産目録は、パソコン等で作成することも認められています」

2）「公正証書遺言は、証人２人以上の立会いのもと、遺言者が遺言の趣旨を公証人に口授し、公証人がこれを筆記して作成するものです」

3）「遺言により、Aさんの全財産を妻Bさんに相続させた場合、弟Cさんが遺留分侵害額請求権を行使する可能性があります」

**《問14》 仮に、Aさんの相続が現時点（2023年９月11日）で開始し、Aさんの相続に係る課税遺産総額（課税価格の合計額－遺産に係る基礎控除額）が１億4,000万円であった場合の相続税の総額は、次のうちどれか。**

＜資料＞相続税の速算表（一部抜粋）

| 法定相続分に応ずる取得金額 | | | 税率 | 控除額 |
|---|---|---|---|---|
| 万円超 | | 万円以下 | | |
| | ～ | 1,000 | 10% | － |
| 1,000 | ～ | 3,000 | 15% | 50万円 |
| 3,000 | ～ | 5,000 | 20% | 200万円 |
| 5,000 | ～ | 10,000 | 30% | 700万円 |
| 10,000 | ～ | 20,000 | 40% | 1,700万円 |

1）2,800万円
2）3,000万円
3）3,900万円

**《問15》 現時点（2023年９月11日）において、Aさんの相続が開始した場合に関する以下の文章の空欄①～③に入る語句または数値の組合せとして、次のうち最も適切なものはどれか。**

i. 「Aさんの相続における相続税額の計算上、遺産に係る基礎控除額は、（　①　）万円となります」
ii. 「妻Bさんが自宅の敷地と建物を相続し、『小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例』の適用を受けた場合、自宅の敷地（相続税評価額5,000万円）について、相続税の課税価格に算入すべき価額は（　②　）万円となります」
iii. 「『配偶者に対する相続税額の軽減』の適用を受けた場合、妻Bさんが相続により取得した財産の金額が、配偶者の法定相続分相当額と１億6,000万円とのいずれか（　③　）金額までであれば、納付すべき相続税額は算出されません」

1）① 3,600　② 4,000　③ 多い
2）① 4,200　② 1,000　③ 多い
3）① 4,200　② 4,000　③ 少ない

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

# 《模範解答》

| 問番号 | 解答 |
|---|---|
| 第1問 | |
| 問1 | 3 |
| 問2 | 2 |
| 問3 | 3 |
| 第2問 | |
| 問4 | 1 |
| 問5 | 2 |
| 問6 | 3 |
| 第3問 | |
| 問7 | 1 |
| 問8 | 1 |
| 問9 | 3 |
| 第4問 | |
| 問10 | 2 |
| 問11 | 1 |
| 問12 | 3 |
| 第5問 | |
| 問13 | 3 |
| 問14 | 2 |
| 問15 | 2 |